

御船高校

沿革

- 平成16年4月 普通科芸術コース新設
- 平成16年10月 全国高等学校ロボット競技大会で初優勝。以来、平成17、18、19、21、22年優勝。平成20年準優勝
- 平成18年6月 文部科学省・県教育委員会「熊本県学力向上拠点形成事業」の委託(3年間)
- 平成19年1月 文部科学省・経済産業省「ものづくり人材育成の専門高校・地域産業連携事業」の指定(3年間)
- 平成19年6月 ジャパンマイコンカーラリー全国大会で3位入賞。平成20年3位入賞
- 平成20年7月 全国高等学校体育大会弓道競技で個人準優勝
- 平成21年8月 まんが甲子園全国大会出場
- 平成21年9月 九州合唱コンクール出場
- 平成21年10月 文部科学省から学校安全の普及と向上で表彰
- 平成22年6月 ピアノコンクール全国大会で準優秀賞



↑平成22年第18回全国高等学校ロボット競技大会で6度目の日本一



1_厳肅な空気に包まれた記念式典会場/2_校旗を握りしめ生徒歌を斉唱する船高生/3_同窓会の嶋田英剛会長/4_育友会の田上忍会長/5_熊本県教育庁の岩瀬弘一総括審議員兼教育次長/6_御船町の山本孝二町長/7_記念講演で「社会生活と法的バランス感覚」を演題に熱弁する北村晴男弁護士

誇り

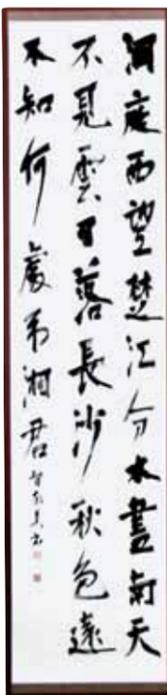


船高生の誇りを胸に

創立90周年を迎えた県立御船高等学校(小林博校長、701人)の記念式典が10月7日、スポーツセンターで開かれ、在校生、職員や卒業生など約千人が出席して、母校の伝統と歴史を祝った。

御船高は、御船中学校創立から現在まで約2万2千人を超える生徒が巣立っている。御船の地を母校に選び、地域と共に成長した多くの「船高生」を社会に輩出してきた。式典では、小林博校長が

御船の地で、多くの生徒と共に伝統と歴史を刻んできた御船高等学校。そして今年、郷土の母校は90年という節目を迎えたのだ。今、高らかな誇りを持って、次なる百年への一步を踏み出して行く。



→平成21年度全国高等学校総合文化祭出展作品

←平成23年度全国高等学校総合文化祭出展作品



「本校は、地域の大きな期待を担って創設されました。来る百周年に向けて、教育活動に全力を尽くし、地域に信頼される、地域と共に成長する学校づくりにまい進します」と式辞を述べた。

生徒代表で3年の佐間野千晶さんは、「自己を磨き、母校のさらなる発展と飛躍のため、努力していきます」と誓いを込めた。

式典の終盤には、校旗を掲げて、生徒全員で肩を組み合い、太鼓の音に合わせて、「生徒歌」を斉唱。出席者全員で青春讃歌の「校歌」を口ずさみ、百年へ向けた新たな船出に期待をよせて、力強い一步を踏み出していった。

文武両道で活躍

御船高は近年、幅広い分野で力を発揮している。

その筆頭が電子機械科マイコン制御部だ。ロボット競技大会では、全国制覇6回を誇る。他校をしのぐ生徒の努力と職員の熱意が若き技術者の土壌を生み出し、ものづくりの可能性を高めている。

普通科芸術コースでは、書道で県高等学校総合文化祭最優秀賞や大東文化大学全国書道展理事長賞などを受賞して高い評価を受けている。

部活動でも、九州合唱コンクールや陸上ハンマー投げでインターハイに出場、全国高



↑平成22年第2回グレンツェンピアノコンクール全国大会で準優秀賞

等学校体育大会弓道競技で個人準優勝するなど活躍を見せている。卒業生からは女子プロゴルファーが誕生して、文武両道の名にふさわしい。今、郷土に明るいニュースを発信している。

受け継がれる伝統と誇り 心に刻み続けた三綱領

御船高校は創立90周年の節目を迎え、在校生は、これまで学校を支えてくださった方々への感謝や、御船高校の伝統について、改めて考える契機となりました。

この学び舎を卒業された多くの先輩方、在校生は、90年間変わらない三綱領を胸に成長してきました。この言葉は校歌同様、卒業してからもずっと、私たちの心に刻まれ続けます。大切に守り継ぎたい言葉です。

先輩方が築いてこられた歴史があつてこそ、現在の御船高校が存在し、未来の御船高校生にも、その熱い思いが受け継がれていくことでしょう。

これから私たちは、次世代の担い手として、百周年へ、そして未来への新たな一步を踏み出していきます。今日、この日、私たちは脈々と受け継がれてきた伝統を受け継ぐことの責任と誇りを、強くこの身に感じています。

御船高校3年生徒代表 佐間野 千晶 さん

醸成される郷土への愛着 古里や日本を支える人に

高校時代は、人格の形成において、人生に大きな影響を与えます。悩み多き時代を励まし合った友、人生の指針となった三綱領は、同窓生にとってかけがえのない人生の宝。本校の歴史と精神の柱として、在校生、未来の船高生にしっかりと伝えていきたいと思ひます。

地域に信頼される学校づくり、地域との連携は、御船町が学園都市構想を推進し、本校では幼稚園から大学までの教育機関や、

地域団体との交流を推進しています。その中で、生徒の郷土への学びが深められ、愛着が醸成されています。

私たちは目の前の困難だけに目を奪われ、現実から目をそらすことなく、新しい社会の創造に参加しなければなりません。船高生には、自分の夢に向かって一步一步力強く前に進み、目標を達成してほしい。将来、古里や日本を支え、新しい社会の創造に貢献する人になってくれることを期待します。

御船高校 小林 博 校長